



2006.7  
vol. 32

# 大好き いばらき



広告チラシをリサイクルして鍋敷きを作成。(泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル会場にて)

## 特集

“もったいない”の気持ちを大切に…。みんなで広げよう！

### 『大好き いばらき エコライフ運動』……2,3

事例紹介

- 那珂市生活学校……………4
- 笠間生活学校……………4
- 台宿町内会（取手市）……………5
- 竹園1丁目B班子ども会（つくば市）……………5
- 駒場ほたるの会（笠間市）……………6

- ネットワークカー訪問……………7
- 大好き いばらき 県民運動活動紹介……………7
- 大好き いばらき 県民運動 これからの活動……………8
- Information……………8

## 大好き いばらき 県民運動

各地域で行われている青少年育成・福祉・生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動、それが「大好き いばらき 県民運動」です。

# もったいないの気持ちを大切に…。

みんなで広げよう！

## 「大好き いばらき エコライフ運動」



いま、地球温暖化や大気汚染、河川・湖沼の水質悪化、そして増え続ける廃棄物など、地球規模での環境問題が年々その深刻さを増しています。これらの多くは、私たちの日常生活が原因となっています。豊かな地球環境を守り、次世代の子どもたちへかけがえのない素晴らしい環境を引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが、身近な環境問題に目を向け、“もったいない”の気持ちを大切にしながら、毎日の暮らしの中で環境に配慮した生活を送るとともに、地域や職場、そして仲間同士で環境を守るための具体的な行動を起こすことが求められています。

### 大好き いばらき エコライフ運動とは？

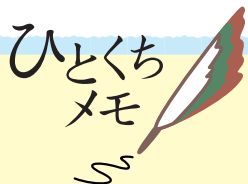
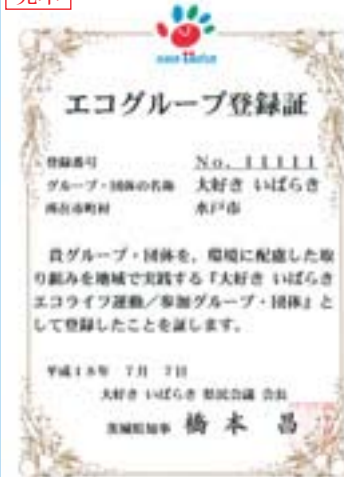
茨城県では、県民や企業などによる環境保全のための活動を支援するため、環境を学び、実践する「いばらき環境学習プラン」を策定しています。

『大好き いばらき エコライフ運動』は、この一環として、個人や家庭ではなかなか継続が難しいゴミの減量や、省エネを意識した生活などに、ご近所や仲間同士で楽しみながら効果的に取り組むことによって“エコライフの輪”を広げていこうとするものです。まずは、1人より2人、2人より3人… 仲間を誘って、“大好き いばらき エコライフ運動”に参加・登録しましょう！

### エコライフ運動への参加・登録は…

- 登録シートに必要な事項を記入して、大好き いばらき 県民会議に送るだけ！
- いつでも、どんなグループ・団体でも登録できます。
- 登録にともなって、報告書を提出していただくなどの義務は一切ありません。
- 登録・年会費は無料です。
- 登録すると…
  - ・登録証を発行します。
  - ・エコライフに取り組むためのヒントがたくさん入った「茨城エコ・チェックシート」を必要な人数分さしあげます。
  - ・エコライフに関する情報を随時お送りします。
  - ・活動の内容や成果をお送りください。素敵なプレゼントを用意しています。お送りいただいた内容は、ホームページや事例集などで紹介させていただきます。

見本



- ①冷暖房の設定温度を1℃変えることで、  
1家庭あたりの年間CO<sub>2</sub>削減効果は約31Kg!  
// 年間節約額は2,000円! 茨城県全体で何と20億円!!
- ②何気なくもらっているレジ袋…国民1人あたりの年間使用量は260枚!  
茨城県全体で何と約7億7千万枚!!  
これを処理するのに、2億7千万円もの経費がかかります!!!

環境を守るために大切なことは“みんなでエコライフに取り組む”こと。

みんなで取り組めば、かならず大きな成果となってあらわれます。

より良い地球環境を守るため、仲間を誘って、みんなで取り組みましょう!!

### その①

#### みんなで楽しくエコチェックにトライ!

省エネ・省資源・ゴミの減量など個人や家庭での取り組みを、エコチェックシートを使ってみんなで数字にあらわしてみよう。ご近所や仲間同士で数値目標を立てるともっと効果的です。



### その②

#### クールビズやウォームビズにトライ!

みんなで集まるときも冷暖房は控えめに。  
季節や天候に合わせた服装を…。  
冷暖房の目安は、夏は28℃、冬は20℃!!



### その③

#### みんなで省エネ・省資源にトライ!

省エネって頭ではわかっていても、なかなか実行できないし、長続きしないもの。  
そこで、みんなで話し合って、例えば  
○マンションなどに住んでいれば、移動はなるべく階段を利用する。  
○みんなで出かけるときは、電車・バスなどの公共交通機関を利用する。  
○近くの移動は、なるべく徒歩か自転車を使うといったことに取り組むだけで、かなりのエネルギー・資源が削減されます。



### その④

#### ゴミを減らす3R (スリーアール) にトライ!



ゴミを少なくする秘訣は、  
第一に、ゴミになるものを極力さけるなどゴミの量そのものを減らすこと (リデュース)。  
第二に、使ったらすぐにゴミにするのではなく繰り返し使うこと (リユース)。  
第三に、不要になった場合は、原料として再生するルートに乗せること (リサイクル) です。  
しかし、行動に移すのはなかなか難しいもの。

そこで…

- 近所のスーパーでの買い物はマイバッグを持参。
  - 仲間や近所の人たちでフリーマーケットや交換市を開催。
  - 空缶や空ビン、新聞・段ボールを分別回収。
- など、地域ぐるみで少しでもゴミを減らす生活を心がけ、実践してみましょう!
- 快適で、そして楽しい生活を送りましょう。





# 事例紹介

大好き いばらき 県民会議では、生活者の視点にたって身近な生活課題を自らの意志でとりあげ、自ら実践する「生活学校運動」を支援しております。生活学校は、昭和 40 年代にスタートし、現在県内 17 の地域（市町村）でゴミの減量化やリサイクル問題に取り組んでいます。

今回は、地域リサイクル活動やマイバッグ持参運動に積極的に取り組んでいる 2 つの学校の事例をご紹介します。

## 「資源を大切にしよう!!」

物を捨てる前にもう一度考え直そう。

那珂市生活学校では「物を捨てる前にもう一度考え直そう」と市民に呼びかけ、限りある資源の再利用や再生利用活動を通して、環境問題に対する市民の意識高揚をはかっています。「那珂市リサイクルセンター」は、平成 6 年 4 月から、長年、廃品回収などの活動を行ってきた女性 5 団体により旧那珂町役場跡に誕生しました。会員数は約 500 名。リサイクルする品目は、新聞・アルミ缶・牛乳パック・瓶類・衣類・雑誌・段ボールなどから自転車・雑貨まで。市民が資源ごみやいらなくなったけど再利用出来そうなものを、自主的にリサイクルセンターに持ち込んだり、市の資源ごみの日に会員が車で回収したりします。リサイクル品は火・木・土曜日に会員が種類別に分別整理し市の資源物回収業者に回収を依頼。衣類、雑誌、修理して再利用出来るようになった自転車などはリサイクルセンターで販売。行政からは収集の分量に応じた支援金を受け、収入は活動資金に充てられます。ちなみに、リサイクルセン

ターに展示してあった衣類は、価格が子供用で 50 円、大人用が 100 円。自転車は 3,000 円から。リサイクルセンターには数千枚の衣類が並べてあり、「手頃な値段で助かります」と、リサイクルセンターを訪れた利用者にも好評です。那珂市生活学校のリサイクル活動は、市民に受け入れられ市民に支えられている活動といえるでしょう。



### 那珂市生活学校

## 「お買い物は、マイバッグを持って!」

「環境チケット」を発行し、買物という行動の中からごみ問題を問いかける。

ショッピングにおける過剰包装やレジ袋の問題は、つまり積もって大きなごみ問題、環境問題に繋がってきています。笠間生活学校では、平成 5 年に「ごみ資源について」のアンケート調査をした結果、半数の人から『ビニールの買い物袋は必要ない』という回答を得、これを基に行政などと協議を重ねた結果、平成 15 年 10 月笠間生活学校を中心とした女性 4 団体が集まり「笠間市レジ袋削減運動推進委員会」を発足させました。翌 16 年 6 月、「環境チケット」を考案。加盟している店舗で、マイバッグを持って、レジでビニールの買い物袋を断ると「環境チケット」がもらえ、店頭・市役所・保育園・幼稚園・小・中学校に設置してある回収ボックスにチケットを入れます。チケットは半年に 2 回推進委員会が回収し、集計。チケット 1 枚が 2 円になり、PTA や社会福祉活動に役立たせることが出来る仕組みになっています。

現在、協力店は、旧笠間市内の小売店・スーパーマ

ーケットなど 105 店舗。今後は、旧友部町内や旧岩間町内にも協力店を増やし「環境チケット」運動を市全域に広げていきたいそうです。

笠間生活学校では、「金額としては少ないが、資源の節約や環境問題に取組む啓蒙運動になれば」と期待を寄せています。このような取組みは全国で唯一、笠間生活学校だけだそうです。



### 笠間生活学校

# 事例紹介

大好き いばらき 県民会議では、安全・安心で快適な地域社会を目指して、地域の皆さんの自主的・主体的な地域づくりへの取り組みを支援する「ご近所の底力再生事業」を展開しています。

今回は、17年度の助成団体の中から、地域ぐるみで環境活動に取り組んでいる3つの団体の取り組みをご紹介します。

## 地域ぐるみで資源ごみの回収活動

だい しゅく  
台宿町内会（取手市）

取手駅の東口に位置する新興住宅地『台宿町内会』（1,880世帯）では、資源ごみの回収活動が35年以上にもわたって続けられています。最初は子ども会育成会が始めた活動でしたが、昭和60年代からは、町内会を核に、地域の親睦・ボランティア団体である親友会、長寿会、子ども会育成会の4団体が力を合わせて取り組んでいます。平成4年に循環型社会の形成を目指す取手市のモデル指定を受け活動が本格化。多くの住民の理解と協力を得ながら活動も定着し、これまでにアルミ缶リサイクル協会、茨城県知事、リサイクル推進協議会から表彰を受けており、昨年度は、第1回の「ご近所の底力大賞」を受賞するなど、市内の他団体のモデル的な存在です。

資源ごみとして回収するのは、缶・ビン類・新聞紙・ダンボール・衣類。資源ごみは、毎月第3日曜日の町内会の回収日と、月3回の市の回収日にコミュニティセンターの集積所に集められ、種類別に分別、最終的に回収業者に引き取られます。回収量は、平成17年度は全体で約65トン、アルミ缶だけでも約8キロになりました。回収された資金は、コミュニティセンターの運営資金や、お祭りなど、町内会の行事にあてられます。



台宿町内会の活動の拠点は、「台宿地区コミュニティセンター」。ボランティアの方が管理人として常駐し、地域住民がいつでもお茶を飲めて、集える場所になっています。また、幅広い年齢層の住民が活動に参加しているのも特徴。

そして何よりも活動のベースになっているのは、ふれあいまつりや運動会などの町内会の行事などで培われた“人と人とのつながり”。「台宿町内会の“まとまり”は先輩方から引き継がれている伝統。何人でもいいから活動を始めることが重要。評論ではだめ、実践あるのみ。」と会長の岡本さんがおっしゃった言葉が印象的でした。昨年には、新たに地域の防犯活動にも取り組んでいます。

## 住民同士の交流を目指した花だんづくり

竹園1丁目B班子ども会（つくば市）

国の研究機関が多く、全国各地から移り住む人も多いつくば市。市の中心部、竹園地域ある「竹園1丁目B班子ども会」では、子どもたちを中心に住民同士が交流しあい、くつろげる空間を創ろうと荒れ放題だった空き地を利用した「花だんづくり」に、4年前から取り組んでいます。きっかけは市の「花だんコンクール」への参加。子どもたちの手によって整備された花だんは、今では賞を受賞するまでになりました。昨年は、花だんを利用したミニ菜園にもチャレンジ。二十日大根やミニチンゲンサイ等を栽培し、クリスマス会では自分たちが育てた野菜でスープを作り自然の恵みを味わいました。

そのほか、コンポスターに生ゴミを入れ落ち葉をかぶせて堆肥を作ったり、大きな水槽でメダカを飼い少し成長してから、ミニビオトープに放し成長を見守ります。こうした活動の中で子どもたちは、資源の活用とごみを分別する意識や生き物を育てる喜びを学んでいます。

花だんのある空間は、子どもたちはもちろん、団地の人達が気軽に立ち寄れる場所になり、花の時期は、近くを通る人々の目を楽しませており、不審者対策にも一役かっています。

「花壇の周辺が格段に明るくなった。様々な命とふれ合い、資源やエネルギーについて考えるようになりました。活動を継続していきたいです。」とみなさん元気にお話してくれました。





## 「ほたるの里」復活を！

### 駒場ほたるの会（笠間市）

愛宕山から難台山に囲まれた笠間市上郷の駒場地区は、豊かな自然環境に恵まれた地域で、ホタルの生息に大切な清らかな水が愛宕山から流れ、旧岩間町時代には「ほたるの里」として名所にも指定されるほど、ホタルが飛び交っていました。しかし、近年では、環境悪化や乱獲などが原因で、ホタルの数が年々少なくなっており、昨年1月、このままではいけないと危機感を持った駒場地区の有志が、「ほたるの里復活を！」と立ち上がり、「駒場ほたるの会」を結成、ホタルの保護・育成の活動をはじめました。

駒場地区は38戸の小さな集落です。活動の呼びかけは全戸に行きます。参加の強制は一切しないにもかかわらず、ほとんどの人が自発的に参加してくれるそうです。活動は、善意により無償で借り受けた、愛宕山の清水が湧き出す谷津田で「ほたる池」を造成することから始め、湧水を引き入れ、ホタルの餌となるカワニナを放し、花菖蒲を植えました。ゴミ拾いや雑草刈りは、定期的に行っています。また、ホタルについて学ぶため、霞ヶ浦ふれあいランドに見学に行ったり、日光に視察に行った時には、湿地を好むという九輪草を現地の方に分けてもらい、小学生たちと植えたそうです。また、材料を持ち寄り、それぞれが特技を活かし、手作りの看板やベンチを設置、見学用の案内板も立て、パンフレットや「ほたる保護監視員」の腕章も作成して、遠く首都圏からも来る見学者の案内や保護運動に活用しているそうです。その結果、見学者のマナーも向上し、ホタルの保護に理解を示してくれる人が増えたそうです。「何度も訪れている方が駒場のほたるの写真を送ってきてくれる」と会長の斉藤さんは、嬉しそうにその写真を見せてくれました。取材に訪れた日も、地元の皆さんのわきあいあいとした楽しい雰囲気が印象的で、「ほたるの里」復活という活動を通して、人の輪や環境保護活動の輪も広がっているようです。



## ◆◆◆ ご近所の底力NEWS ◆◆◆

### 平成18年度 大好き いばらき “地域づくり” 県民大会

地域コミュニティづくりに主眼をおいて実施してきた「ご近所の底力県民大会」を、今年度は、地域の活性化を目的とする茨城県の新規事業である「いばらきイメージアップ大賞」の表彰式を併せて実施し、より大きな意味での“地域づくり”をテーマとする県民大会として実施いたします。皆様、ふるってご参加ください！

- ◆日時 平成18年10月19日（木）  
13：00～16：00
- ◆会場 県民文化センター大小ホール
- ◆テーマ “ご近所”から共に創ろう、元気で住みよい地域社会
- ◆内容
  - ご近所の底力大賞表彰式
  - いばらきイメージアップ大賞表彰式
  - 基調講演 重松 清（作家）  
直木賞を受賞した「ビタミンF」など、現代社会が抱える「家族」や「地域社会」の問題をテーマとした作品を多数発表。
  - 事例発表—地域コミュニティ活動に関する実践事例発表



### 平成18年度 ご近所の底力 ・人づくりセミナー

地域課題の発見や解決能力を高める実践的なプログラムを提供し、地域コミュニティ活動を支援地域の活力を生み出す人材の育成を目的とするセミナーを開催します。皆様、ふるってご応募ください！

- ◆対象
  - 地域コミュニティ活動に携わっている方、又は関心を持っている方
  - 地域において自主的なコミュニティ活動を実践することができる方



- ◆日程
  - ①前期 平成18年12月2日（土）、3日（日）  
※1泊2日で実施  
↓ 地域での実践活動
  - ②後期 平成19年3月頃（1日間）※成果発表会
- ◆募集人員  
25名～50名程度  
※申込者が多数の場合は地域バランスや年齢層などを勘案し参加者を決定します。
- ◆参加費  
無料。ただし、会場までの交通費、宿泊費、昼食代等は自己負担となります。



県民運動を地域で支える

# ネットワークー訪問



下妻市

## 下妻市ネットワークー等 連絡協議会

創立：平成18年4月  
会長：軽部 守彦 会員数：53名



平成18年4月、旧下妻市と旧千代川村のネットワークー協議会が統合し「下妻市ネットワークー等連絡協議会」として生まれ変わりました。

主な事業に、定期的に行われている鬼怒川大形橋のポケットパークの清掃及び除草。鬼怒フラワーラインにて5月に開催される「花とふれあいまつり」や8月開催予定の「鬼怒川流域Eポート大会」、小貝川ふれあい公園で行われる「フラワーフェスティバル」においては、スタッフとしてイベントを支えています。

また、下妻市には外国人が多いため、定期的に外国人とお国自慢の料理をお互い持ち寄り交流を深めたり、年1回「国際交流祭<sup>たかさい</sup>」も開催されています。

また、「高道祖七不思議ウォーキングMAP」を作成し、市の史跡や歴史的な場所のPRも行っています。

今後の最大の目標は「旧下妻市と旧千代川村の会員間の交流と理解を深められるような活動を展開していきたい」と会長の軽部さんは、意気込みを語ってくれました。



東海村

## 大好き茨城東海村地域 推進会議

設立：平成16年3月  
会長：安 節子 会員数：17名



東海村は、他の地域から来た住民が多い村です。生活・環境・教育・福祉など、村民意識が高く、行政も前向きに取り組んでいます。平成16年に設立され「大好き茨城東海村地域推進会議」では、最初、行政がすべてやっている中、自分たちで、改めて活動をはじめたものがあるのだろうかと考えるところからはじまったそうです。試行錯誤した結果、環境問題をと、エコドライブの普及活動をはじめました。石油が高騰している今、危機感を感じている家庭が、まだまだ少ないのが現状です。そこで危機感を持って一緒に問題に取り組む人を増やし、意識を広げていきたいと、専門家を講師に呼び講習会を開催しています。講習会に参加した人は、簡単なことでエネルギーを節約出来ることを今まで知らなかった、講習会に参加してエコドライブを心がけたいと理解を深めて帰っていくそうです。会長の安さんは「会議を始めて3年目にして、ようやく活動が浸透してきた、これからも地道に活動をしていきたい。今後は、もっと積極的に動くことができる若い力に参加してもらいたい」と抱負を語ってくれました。

## 大好き いばらき 県民運動 活動紹介

### 第7回 大好き いばらき ふれあいまつり

4月8日（土）、茨城県三の丸庁舎（水戸市）を会場に、約3万人の来場者を迎えて盛大に開催された、第7回 大好き いばらき ふれあいまつり。

三の丸の賑わいをさらに周辺まで広げていこうという「商店街ふれあいスタンプラリー」、「歴史探訪ふれあいクイズラリー」にも多くの参加者がありました。



### 第13回 大好き いばらき 県民会議総会

5月22日（月）に、茨城県三の丸庁舎大講座室において、平成18年度の総会が開催され、今年度の事業計画などが承認されました。

また、会長の橋本知事からは、県政を取り巻く課題、自分たちの地域は自分たちがつくるという地域コミュニティの重要性についてのあいさつがありました。

### 第11回 泳げる霞ヶ浦 市民フェスティバル

7月17日（月）の海の日に、霞ヶ浦総合公園内にある土浦市国民宿舎「水郷」前広場で、開催されたフェスティバルにおいて、「大好き いばらき エコライフ運動キャンペーン」を行いました。

悪天候にもかかわらず多くの方が大好き いばらきテントで「エコ・チェックアンケート」によりそれぞれのエコライフ度を診断しました。





# 大好き いばらき 県民運動 これからの活動

次号(33号)は、11月末に発行する予定です。それまでの、大好き いばらき 県民運動の行事等をお知らせします。

| 月 日                   | 事 業 名                                | 会 場                             |
|-----------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 8月26日(土)              | 霞ヶ浦環境科学センター夏まつり2006                  | 霞ヶ浦環境科学センター(土浦市)                |
| 10月5日(木)<br>～9日(月:祝日) | 第18回全国生涯学習フェスティバル<br>「まなびピアいばらき2006」 | 県民文化センター(水戸市)<br>笠松運動公園(ひたちなか市) |
| 10月19日(木)             | 大好き いばらき“地域づくり”県民大会                  | 県民文化センター(水戸市)                   |
| 11月1日(水)              | 「いばらき教育の日」記念大会                       | 水戸市民会館(水戸市)                     |
| 11月19日(日)             | 花いっぱい運動の集い                           | 水戸市植物公園(水戸市)                    |
| 11月28日(火)             | 「いばらき教育の日」推進大会                       | 県民文化センター(水戸市)                   |

## ★第18回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピアいばらき2006」開催概要

まなびこそ  
輝くあなたの 第一歩



10月5日(木)～9日(月:祝日)の5日間、第18回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006」が、県民文化センターと笠松運動公園を主会場として開催されます。

このフェスティバルは、学習活動への参加のきっかけづくりのため、生涯学習に関する先進的な活動の成果を全国規模で提供する参加体験型のイベントです。

県民文化センターでは、タレントの渡辺徹さん(古河市出身)がメインパーソナリティの「総合開会式」、俳優の山本耕史さんをお迎えしての「とことん茨城を知るフォーラム～映画作りとまちづくり～」等を開催します。

笠松運動公園では、多彩な学習情報・生涯学習の成果が発表される「まなび発見ステーション」、体験教室やステージ発表など実際に物を作ったり、手に触れたりすることが

できる「まなび体験パーク」のほか、大道芸のパフォーマンスが行われます。

「大好き いばらき 県民会議」も出展しますので、皆様も是非お出かけください。

○茨城県立県民文化センター(総合開会式・総合閉会式等)  
310-0851 茨城県水戸市千波町東久保697  
TEL 029-241-1166

○笠松運動公園(生涯学習見本市・生涯学習体験広場等)  
312-0001 茨城県ひたちなか市佐和2197-28  
TEL 029-202-0808

### 【お問合せ先】

第18回全国生涯学習フェスティバル実行委員会事務局  
TEL 029-301-5333

### ○「いばらき教育の日」記念大会開催概要

日 時／11月1日(水) 13:00～16:30

場 所／水戸市民会館

内 容／記念講演(長谷川幸介・茨城大学助教授)、表彰(優秀教員等)、実践発表等

### ○第7回「いばらき教育の日」推進大会開催概要

日 時／11月28日(火) 10:00～15:10

場 所／県民文化センター

内 容／記念講演(藤原正彦・お茶の水女子大学教授)、表彰(善行表彰等)、実践発表等

## Information

### ●平成18年度 花いっぱい運動定着化促進事業

- ・支援内容／1団体・学校あたり5万円以内
- ・対象経費／花いっぱい運動を継続的に進めていくために必要な経費
- ・応募資格／花いっぱい運動に継続的に取り組む意欲のある茨城県内の各種団体・学校
- ・申込締切／平成18年9月13日(水)
- ・応募方法／応募用紙に、活動時や花壇の写真(3～5枚)を添えて、市町村花いっぱい運動担当課または直接、大好き いばらき 県民会議まで提出。(応募用紙は、各市町村花いっぱい運動担当課窓口または大好き いばらき 県民会議ホームページよりダウンロード)

### ●第17回大好き いばらき 作文コンクール

- ・募集内容／テーマ:「あたたかな人と人との心の通い合い」
- ・対 象／茨城県内に居住する小学生・中学生・高校生
- ・字 数／小学生低学年…400字詰め原稿用紙(B4版)2枚以内  
小学生高学年、中学生…400字詰め原稿用紙(B4版)2枚以上3枚以内  
高校生…400字詰め原稿用紙(B4版)4枚以上5枚以内
- ・応募方法／通学している小学校、中学校及び高等学校へ提出
- ・応募締切／平成18年9月8日(金)(当日消印有効)



大好き いばらき 県民会議

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2F

TEL029-224-8120 FAX029-233-0030

URL <http://business2.plala.or.jp/daisuki/>

E-mail [daisuki@atlas.plala.or.jp](mailto:daisuki@atlas.plala.or.jp)